２０１６

石神井中だより

平成28年 1月28日 発行 1月号

○明るく、健康な生徒
○正しい判断力をもち、主体的に
学び行動する生徒
○豊かな情操をもち、品位ある生徒

http://www.shakujii-j.nerima-tky.ed.jp/

学校評価アンケートの結果

校長　田中　隆史

平成２８年も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様には、本校の学校評価アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。今年度は 82.6%の多くの方々にご回答をいただきました。また、自由記述欄におきましても、日頃の教育活動に対する貴重なご意見をいただき、保護者の皆様の本校に対する期待と関心の高さを改めて痛感いたしました。ご意見等につきましては真摯に受け止め、来年度の教育活動に生かしていきたいと考えております。

学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。各設問の回答において、「とてもそう思う」「まあそう思う」を肯定的評価として、「あまり思わない」「まったく思わない」を否定的評価として学校評価をまとめました。

「確かな学力の定着と向上」の取組状況において、設問１では教員と生徒の肯定的評価が 90%以上に対し、保護者が約 72%でした。設問２では教員と生徒の肯定的評価が 93.5%・80.3%に対し、保護者が 53.7%でした。設問３では肯定的評価が三者とも 100%・85.8%・89.2%と高い評価でした。設問４・５では教員の肯定的評価が 93.5%に対し、生徒と保護者は 80%前後でした。特に、設問１・２では教員・生徒・保護者の受け止め方にギャップが見られました。

また、設問４では昨年度の肯定的評価と比較し、生徒と保護者が約 10%高い評価でした。ただし、設問２では生徒と保護者が約 10%低い評価でした。

「豊かな心の育成」の取組状況において、設問６では肯定的評価が三者とも 83.8%・83.5%・82.0%と高い評価でした。設問７・８・９では教員の肯定的評価が 100%・93.5%・93.5%に対し、生徒は 80・60・70%前後、保護者は 70・50・60%前後でした。教員と生徒・保護者の受け止め方にギャップが見られました。

また、設問８では生徒と保護者の「わからない」の回答が 25.2%・32.9%もあり、これは、表面的な活動でないために理解されにくかったからだと思われます。ちなみに「わからない」の回答を除くと、約 75%が肯定的評価になります。

「行事・部活動の充実」の取組状況において、設問１０・１１では肯定的評価が三者とも 90%以上と高い評価でした。設問１２では肯定的評価が三者とも 100%・95.7%・85.9%と高い評価でした。設問１３では教員の肯定的評価が 93.5%に対し、生徒と保護者は 73.7%・59.6%でした。行事・部活動においては、三者とも高い評価でしたが、生徒会活動においては、教員と生徒・保護者の受け止め方にギャップが見られました。

また、設問１０～１２では昨年度の肯定的評価と比較し、少しずつですが、生徒と保護者の評価が各設問とも高くなっています。設問１３では生徒と保護者の「わからない」の回答が 19.1%・31.3%もあり、それぞれ約 15%も増えています。ちなみに「わからない」の回答を除くと、生徒と保護者で約 91%・87%が肯定的評価になります。

「健康教育及び食育の推進」の取組状況では、肯定的評価が三者とも 80%以上と高い評価でし

た。例年高い評価ですが、設問１４では保護者の「わからない」の回答が 11.7%もあり、昨年度と比較し、約 7%増えています。

「安心で安全な学校環境づくり」の取組状況では、教員と生徒の肯定的評価が２つの設問とも 90%以上・80%以上に対し、保護者は 77.9%・72.9%でした。教員・生徒と保護者の受け止め方にギャップが見られました。また、保護者の「わからない」の回答が約 15%・19%もあり、昨年度と比較し 10%以上増えています。

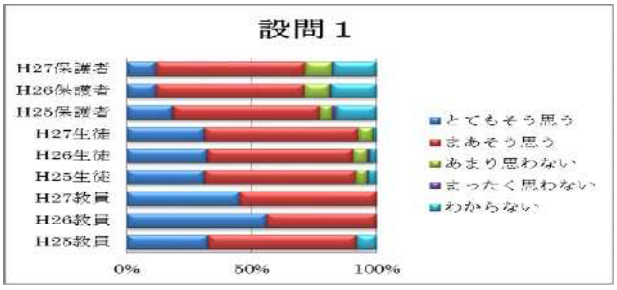
「保護者や地域との連携」の取組状況において、設問１８では肯定的評価が三者とも 96.7%・81.0%・93.2%と高い評価でした。設問１９では教員と保護者の肯定的評価が 100%・89.9%に対し、生徒は 74.1%でした。生徒の「わからない」の回答が 22.0%もあり、昨年度と比較し 14%も増えています。設問２０では教員の肯定的評価が 83.9%に対し、生徒と保護者は 53.6%・54.0%でした。生徒と保護者の「わからない」の回答が 35.7%・32.1%もあり、昨年度と比較し、それぞれ約 20%・14%も増えています。ちなみに「わからない」の回答を除くと、約 80%が肯定的評価になります。

また、設問 18 では肯定的評価が昨年度と比較し、保護者が 11.6%高い評価でした。

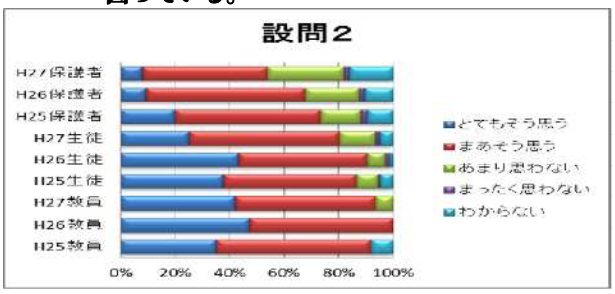
「学校評価の集計を終えて」、全体（設問１～２０）の肯定的評価の平均は、教員・生徒・保護者が 95.3%・82.1%・76.3%でした。また、３年間の生徒・保護者の平均が約８１%でした。しかし、否定的評価の数字が高い項目や自由意見等を考えると、まだまだ改善の余地が充分あります。

グラフ等については、小さく読みにくくなっていますが、本校のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

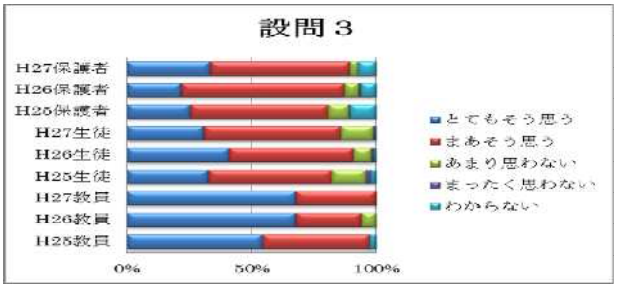
設問１　わかりやすく、工夫した授業が行われている。



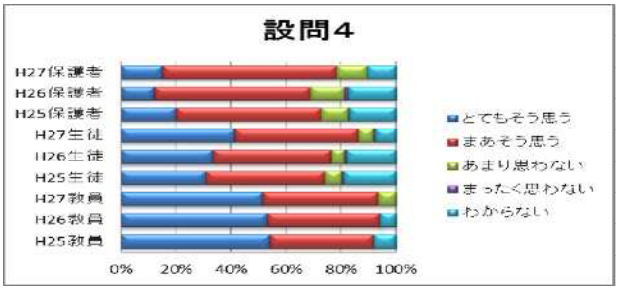
設問２　個に応じた教科指導を進め、基礎学力の定着を図っている。



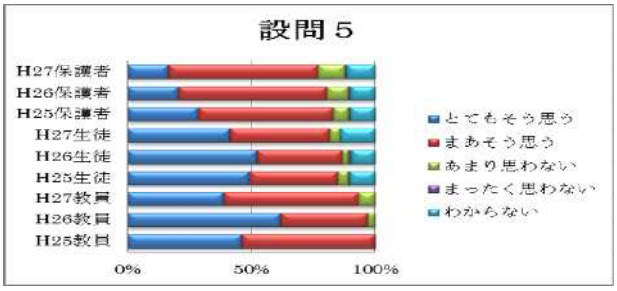
設問３　落ち着いて授業に取り組める雰囲気がある。



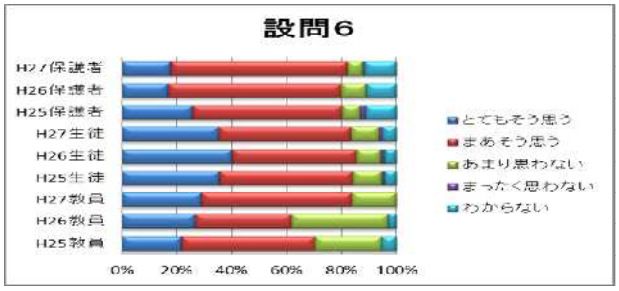
設問４　評価計画に基づいた評価・評定が適切に行われている。



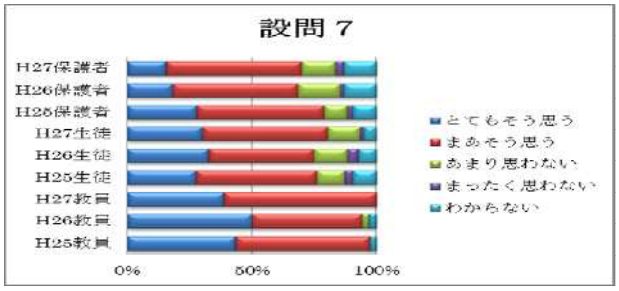
設問５　３年間を見通した進路指導(職場体験を含む)・キャリア教育が行われている。



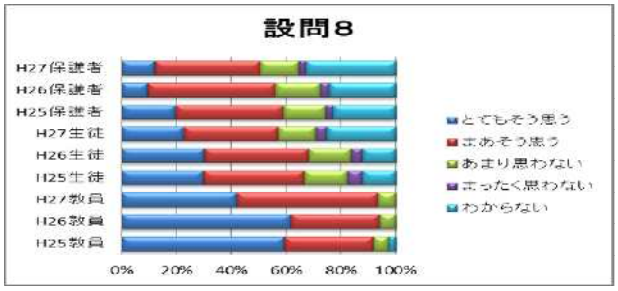
設問６　教育活動全体を通して、道徳教育に努めている。



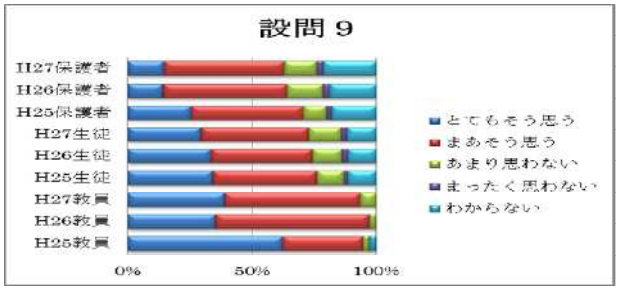
設問７　生徒の心を大切にした生活指導が行われている。



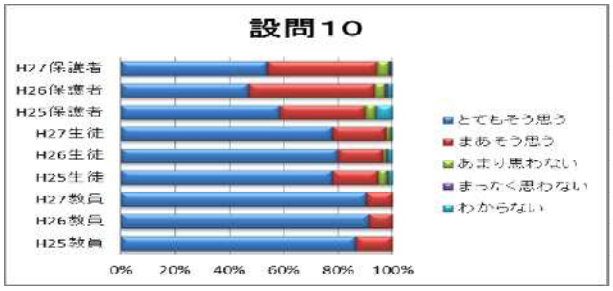
設問８　いじめ、不登校、支援を要する生徒などの対応が迅速に行われている。



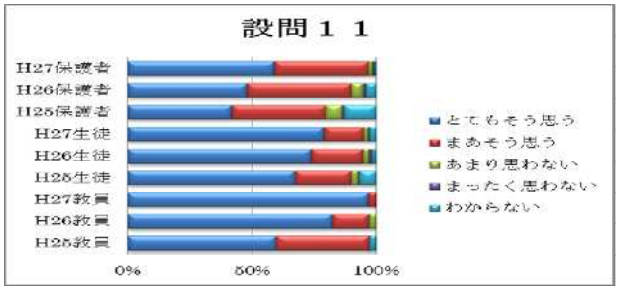
設問９　全教員による一致した生活指導が行われている。



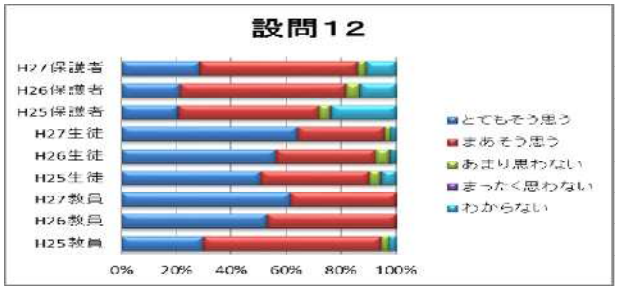
設問 10　体育祭と文化発表会が活発に行われている。



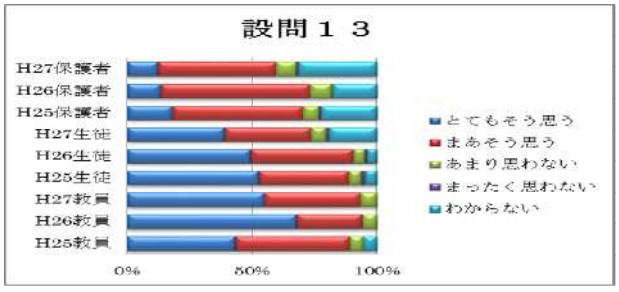
設問 11　部活動が活発に行われている。



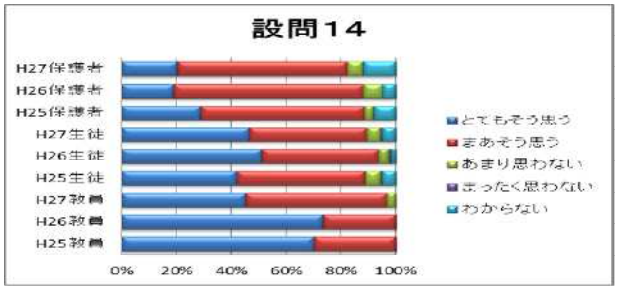
設問 12　生徒会活動や委員会活動が活発に行われている。



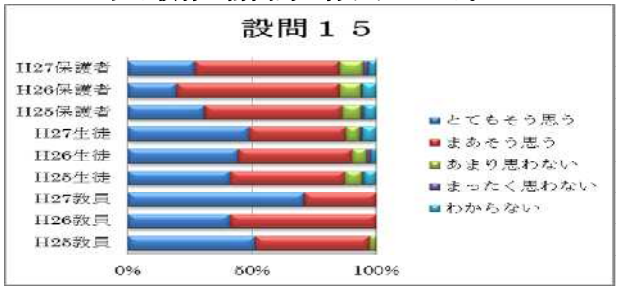
設問 13　かたくりの里の訪問など生徒会主催のボランティア活動が活発に行われている。



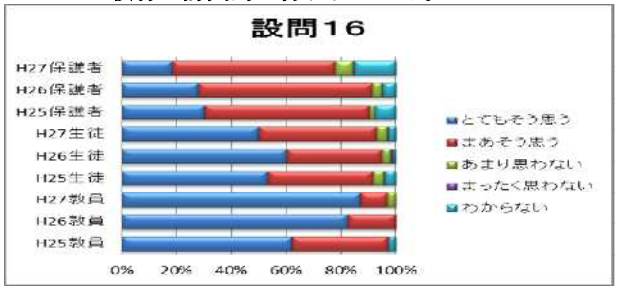
設問 14　薬物乱用防止教室の実施など健康に関する教育が計画的に行われている。



設問 15　給食だよりの発行や給食試食会など食育に関する教育が計画的に行われている。

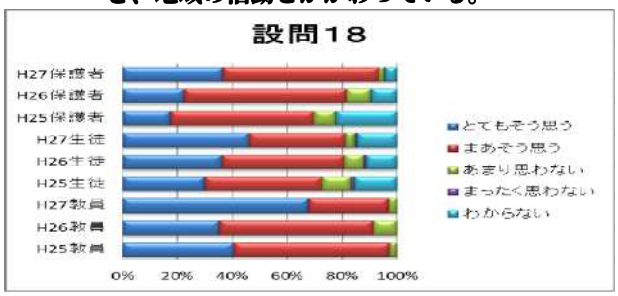


設問 16　毎月の避難訓練や安全指導など安全に関する教育が計画的に行われている。

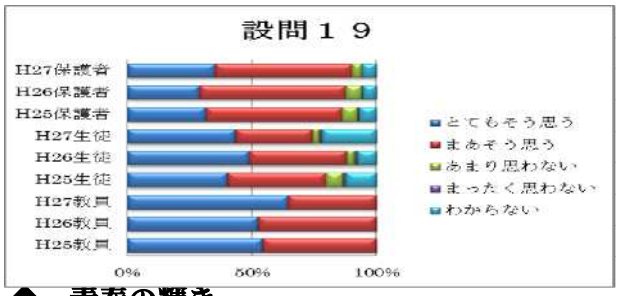


設問 17　危険箇所の修繕などきれいで安全な学習環境となっている。

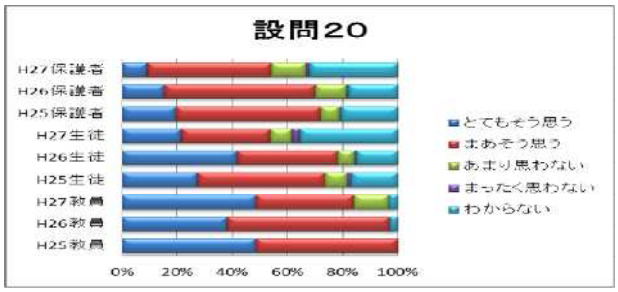
設問 18　地域祭への参加や氷川神社祭礼パトロールなど、地域の活動とかかわっている。



設問 19　学校公開やホームページの更新など地域に学校の様子や取り組みを知らせている。



設問 20　小中一貫教育研究の推進など地域と連携した教育活動を行っている。



◆　青春の輝き

生徒作品展

練馬区立中学校生徒作品展が練馬区立美術館で、1 月 9 日(土)～13 日(水)に開催されました。本校からも美術科、技術・家庭科、特別支援学級の多くの作品が出品されました。開催中の土日には、1 日で 1000 名を超える来場者があり好評でした。本校の校内作品展（文化発表会）は、2 月 13 日(土)に開催いたします。豊かな創造力と素晴らしい感性から作られた作品の数々を、保護者の皆様も是非ご鑑賞ください。

校内書き初め展（担当　加藤　真嗣）

今年も書き初めの展示が始まりました。どの作品も、授業で学んだ技法を生かし、のびのびと書かれています。何人かの生徒の作品は、学校の代表として練馬区や東京都の展覧会に出品されました。展覧会では「石神井中学校は優秀ですね」とお褒めの言葉も頂きました。来年も素晴らしい作品が集まることを、期待しています。

２月の予定

２月　１日（月）全校朝礼	２月 13 日（土）学校公開、校内作品展
２月　２日（火）都立推薦発表手続き	新入生保護者説明会
２月　３日（水）区中研発表会	周年行事準備委員会
２月　４日（木）都立一次前期出願	２月 14 日（日）東京都公立学校美術展覧会(終)
２月　５日（金）小中一貫教育合同研修会	２月 15 日（月）生徒会朝礼
２月　７日（日）中学生東京駅伝大会	２月 17 日（水）職員会議
２月　８日（月）スキー移動教室(I)始	２月 18 日（木）PTA 実行委員会
２月　９日（火）東京都公立学校美術展覧会(始)	２月 19 日（金）学校評議員会
２月 10 日（水）私立一般入試	２月 20 日（土）新入生標準服採寸
２月 11 日（木）建国記念の日	２月 23 日（火）進路講演会(1)
スキー移動教室(I)終	２月 24 日（水）都立一次前期入試
２月 12 日（金）作品展準備、I 組振替休業日	２月 25 日（木）学年末考査
	２月 26 日（金）学年末考査、職員会議